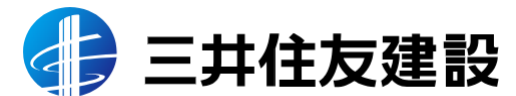


「総合インフラサービス企業」のさらなる進化に向けた
インフロニア・ホールディングス株式会社と
三井住友建設株式会社との経営統合について
説明資料



2025年5月14日

アジェンダ

インフロニア・ホールディングスからの説明

1. 本経営統合の概要
 2. 本経営統合によって期待されるシナジー
 3. 本公開買付けの主要な買付け条件
 4. 今後のスケジュール
- Appendix

三井住友建設からの説明

1. 本経営統合の目的
 2. 本経営統合により期待されるシナジー
- Appendix

インフロニア・ホールディングスからの説明

1. 本経営統合の概要

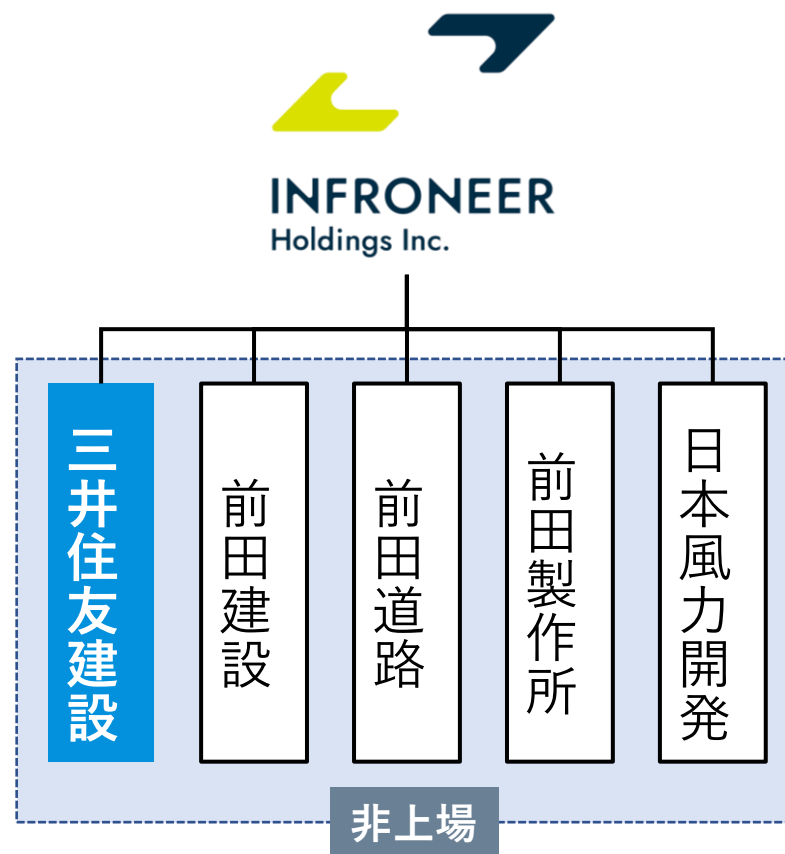
インフロニア・ホールディングスは、フィリピンにおける競争法に基づく手続き完了等の前提条件が充足次第、三井住友建設と経営統合するための株式公開買付けを実施いたします

企業概要

社名	三井住友建設株式会社
設立	2003年4月1日
代表者	代表取締役社長 柴田 敏雄
資本金	12,003,798千円
上場取引所	東証プライム（証券コード1821）
従業員数	5,522人（24年3月末現在）

社名	インフロニア・ホールディングス株式会社
設立	2021年10月1日
代表者	代表執行役社長 岐部 一誠
資本金	20,000,000千円
上場取引所	東証プライム（証券コード5076）
従業員数	8,037人（24年3月末現在）

株式取得後



2-1. 本経営統合により期待されるシナジー

これまで



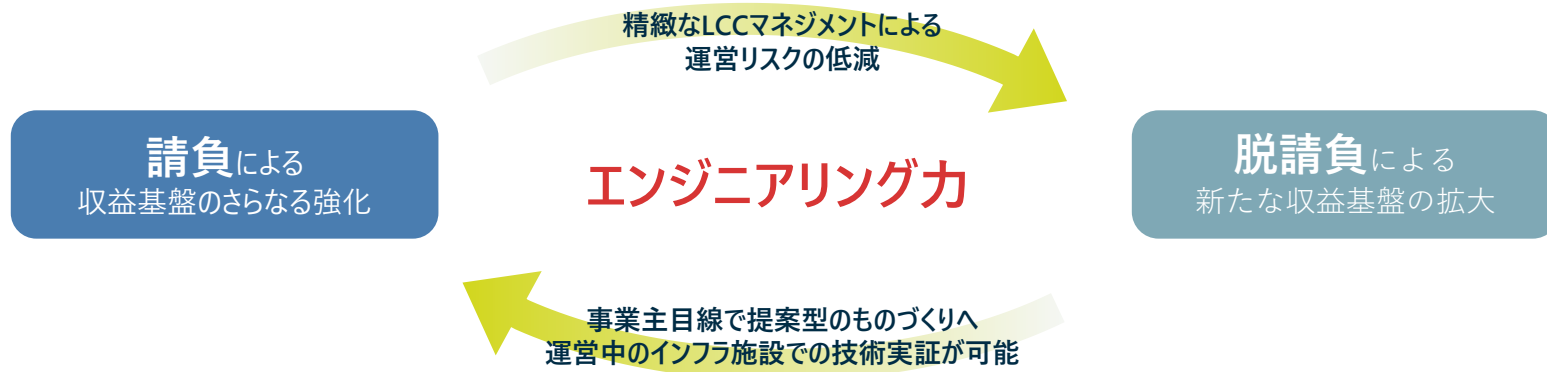
「総合インフラサービス企業」として
つくることだけを目的とせず、インフラに関するプロジェクトの投資
を含め、上流から下流まで一気通貫のビジネスモデルを推進



これから

三井住友建設が加わることで期待されるシナジー

強化されるエンジニアリング力※は請負と脱請負における差別化の原動力



※エンジニアリング力：設計・計画から施工管理まで、技術的な知識とスキルを活かして効率的かつ安全にプロジェクトを進める能力

2-2. 本経営統合により期待されるシナジー

三井住友建設が加わることで期待されるシナジーの詳細

エンジニアリング力の強化

請負・脱請負において差別化のカギとなるエンジニアリング力の強化によるさらなる成長

建設事業の次なる成長ステージ

建設事業を川上から川下まで網羅し、フルラインナップで対応可能
土木：異なる得意分野を補完することで、あらゆるインフラ分野で競争力を強化
建築：異なる顧客ネットワークを補完し、幅広いマーケットを開拓
特に超高層住宅分野では圧倒的な業界シェアへ

海外事業の拡大

アジアを中心に業界トップクラスを誇る三井住友建設の実績とネットワークを活用し、インフロニアグループ全体で新たな海外展開を推進

共同で取り組む持続的な成長基盤

アクセンチュアとの合併会社を活用したIT/DX戦略をはじめ、技術開発、サステナビリティ戦略、ガバナンス体制の強化、人材育成を共同で推進

進化した建設事業にインフラ運営のノウハウを融合し
唯一無二の『総合インフラサービス企業』として新たなステージへ挑み続けます

3. 本公開買付けの主要な買付け条件

公 開 買 付 者	インフロニア・ホールディングス株式会社 (プライム市場 証券コード：5076)	
対 象 者	三井住友建設株式会社 (プライム市場 証券コード：1821)	
当 社 取 締 役 会 決 議	2025年5月14日(水)	
前 提 条 件	フィリピンにおける競争法に基づく必要な手続き等完了次第	
公開買付開始公告日	7月上旬開始予定	
決 済 開 始 日 (予 定)	決定次第速やかに公表	
買 付 け 等 の 価 格	普通株式 1 株につき金600円	
プ レ ミ ア ム	2025年5月13日(火)終値(544円)	10.29%
	過去 1 ヶ月間の終値平均株価(497円)	20.72%
	過去 3 ヶ月間の終値平均株価(447円)	34.23%
	過去 6 ヶ月間の終値平均株価(427円)	40.52%
買付予定株数の下限	104,589,800株 (保有割合：66.67%)	
買付予定株数の上限	なし	
買 付 代 金 の 総 額	約940億円	
公 開 買 付 代 理 人	大和証券株式会社	

4. 今後のスケジュール

2025年5月14日（水）（本日）	株式公開買付け開始予定 取締役会決議
7月上旬ごろまで（予定）	フィリピン競争法の手続き
2025年7月上旬（予定）	株式公開買付けの開始
2025年8月下旬～9月上旬（予定）	株式公開買付けの終了・結果公表
2025年12月中（予定）	経営統合に向けた手続き
2026年1月～（予定）	インフロニアグループへ参画

※ 本公開買付けのスケジュールの詳細については、フィリピンの競争当局における手続等に要する期間を正確に予想することが困難な状況であるため、決定次第速やかにお知らせいたします。なお、本公開買付け開始の見込み時期に変更が生じた場合、速やかにお知らせいたします。

Appendix

【参考】 事業会社の概要

インフロニアグループの主な事業会社

社名	前田建設工業株式会社
創業	1919年1月8日
代表者	代表取締役社長 前田 操治
資本金	28,463,349千円
従業員数	3,310人 (24年3月末現在 個別)
事業内容	土木事業、建築事業、インフラ運営事業他

社名	株式会社前田製作所
設立	1962年11月30日
代表者	代表取締役社長 伊藤 正義
資本金	3,160,000千円
従業員数	563人 (24年3月末現在 個別)
事業内容	自社製品の製造販売およびコマツ製品の総合販売店、建設機械のリース他

社名	前田道路株式会社
創立	1930年7月19日
代表者	代表取締役社長 今泉 保彦
資本金	19,350,000千円
従業員数	2,435人 (24年3月末現在 個別)
事業内容	舗装事業、合材製造販売事業他

社名	日本風力開発株式会社
設立	1999年7月26日
代表者	代表取締役社長 藤谷 雅義
資本金	100,000千円
従業員数	137人 (25年3月末現在 個別)
事業内容	風力発電事業、風力発電所の維持管理事業

三井住友建設からの説明

1. 本経営統合の目的

これまで

- **当社が考える建設業界が抱える課題**
 - ・ 担い手不足（高齢化・時間外労働の上限規制適用の影響）
 - ・ 建設資機材価格の高止まり(調達力の強化)
 - ・ 労務需給の逼迫によるサプライヤーの確保
- **当社独自の課題**
 - ・ 損失により棄損した資本の早期回復・早期の企業価値向上



これから

インフロニアとの経営統合により

より確実・スピーディーな企業価値向上を図る

～単独で存続し続ける場合と比較して遥かに大きいシナジーを実現～

2-1. 本経営統合により期待されるシナジー（事業別）

1 国内土木事業

現状

強みであるPC橋梁・大規模更新を軸に、成長分野であるエネルギー関連施設に注力

目指す姿

重複していない分野で強みを持つ両グループのノウハウや技術の共有による、土木事業分野のフルラインナップでの展開

2 国内建築事業

現状

超高層住宅やプレキャスト部材を活用した急速施工技術、グループ関連商業施設や工場の施工実績

目指す姿

超高層住宅分野では圧倒的な業界シェアを獲得。両社保有技術やシステムの共有による収益基盤強化

3 海外事業

現状

大型ODA土木案件の実績や、インドをはじめとする東南アジア諸国における建築実績とネットワーク

目指す姿

インフロニアグループの持つ総合インフラサービスの技術・ノウハウの海外展開による、事業領域拡大

4 新規周辺領域事業

現状

水上太陽光発電を軸に、再生可能エネルギー事業等を展開

目指す姿

インフロニアグループの持つ再生可能エネルギー事業の知見及び経営資源の共有による事業拡大

2-1. 本経営統合により期待されるシナジー（経営基盤）

インフロニアグループの経営資源やノウハウを共有することによる、経営基盤の強化

1 財務基盤の強化

信用力向上による金融コスト削減と、国内外大型工事への対応力強化

2 人的資本の強化

採用・育成・定着の強化、処遇改善等による社員のエンゲージメント向上

3 技術力向上

技術・ノウハウの融合・共同開発等による技術力、研究開発投資の拡大

4 サステナビリティ経営の強化

資源の効率的利用、技術革新の促進による持続可能な成長を実現

5 DX推進・生産性向上

DXの共同推進による効率化・生産性向上の加速

Appendix

三井住友建設株式会社

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

設立	1941年（昭和16年）10月 現合併新会社 2003年（平成15年）4月
業種	総合建設業
事業所	国内12支店／ 子会社22社・関連会社7社 計29社
資本金	120億円
連結売上高	4,630億円（2024年度）
連結純利益	9億円（2024年度）
従業員数	5,392人（25年3月末現在）

三井住友建設グループ



三井住友建設

子会社21社(うち海外11社)・関連会社7社

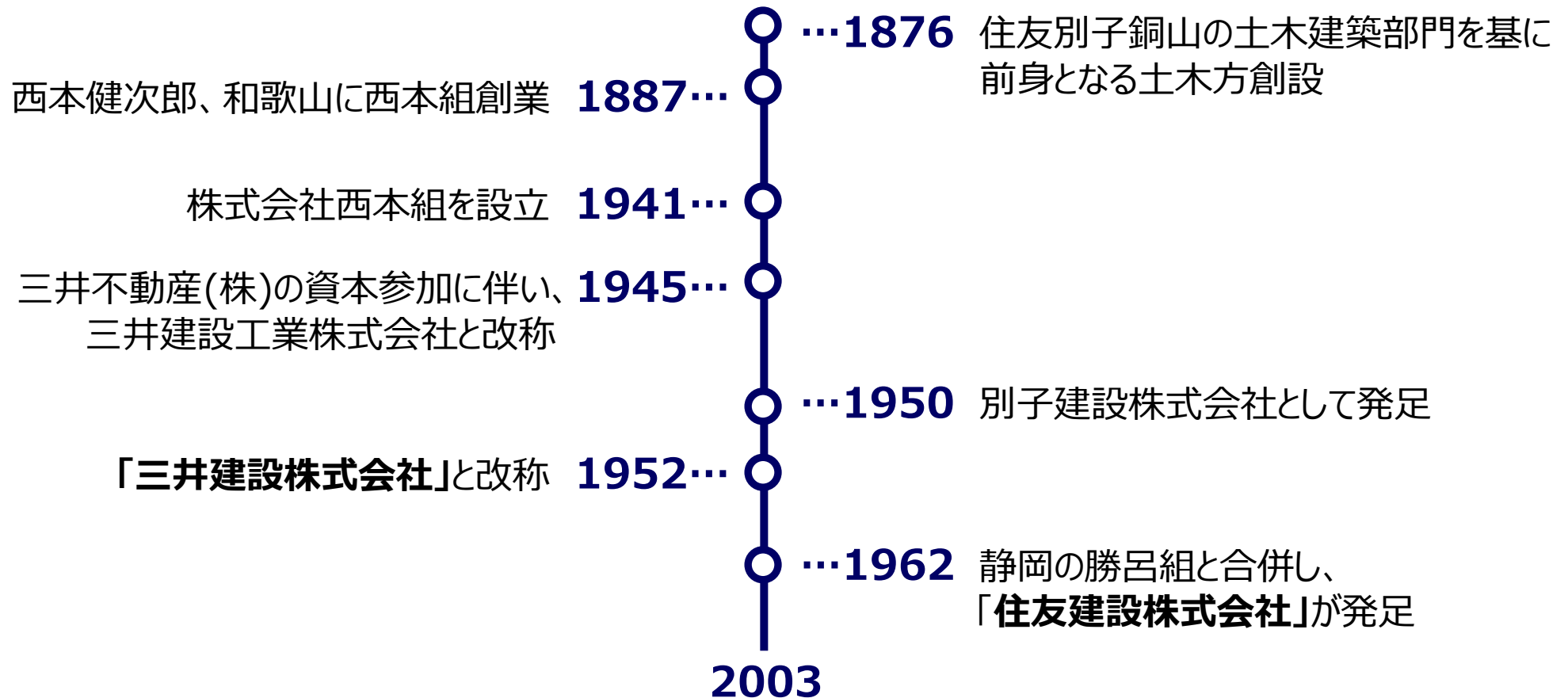
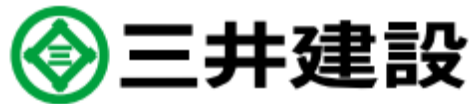
国内関係会社

- 三井住建道路
- 三井住友建設鉄構エンジニアリング
- ドーピー建設工業
- SMCテック
- SMCプレコンクリート
- SMCシビルテクノス
- 西和工務店
- SMC R
- SMC商事 他

海外関係会社

- SMCCコンストラクションインド
- SMCCフィリピンズ
- SMCCオーバーシーズシンガポール
- SMCCタイランド
- SMCCウタマインドネシア
- SMCCマレーシア
- Antara Koh Pte Ltd 他

2003年、三井建設と住友建設の合併により誕生
三井グループと住友グループの両方に属する唯一のゼネコン



三井住友建設

売上比率
建築 55 : 45 土木

国内建築



海外建築

国内建築
46%

国内土木
36%

海外土木
9%

海外建築
9%

国内土木



海外土木

過去5カ年の売上高構成比(2020-2024)

【参考】 事業会社の概要

三井住友建設グループの主な事業会社

社名	三井住建道路株式会社
創業	1948年2月
売上高	30,914百万円（24年3月期）
従業員数	429人（24年3月末現在）
上場取引所	東証スタンダード（証券コード1776）
事業内容	舗装、道路、造園、一般土木工事等

社名	ドーピー建設工業株式会社
創業	1956年9月
売上高	10,897百万円（24年3月期）
従業員数	186人（24年3月末現在）
事業内容	橋梁事業、橋梁保全事業等

社名	SMCC Construction India Ltd.
創業	1996年12月
売上高	19,133百万円（24年3月期）
従業員数	316人（24年3月末現在）
事業内容	建築工事

社名	三井住友建設鉄構エンジニアリング株式会社
創業	1974年2月
売上高	17,610百万円（24年3月期）
従業員数	287人（24年3月末現在）
事業内容	橋梁事業、橋梁保全事業、沿岸事業等

社名	SMCプレコンクリート株式会社
創業	1948年2月
売上高	6,506百万円（24年3月期）
従業員数	119人（24年3月末現在）
事業内容	コンクリート二次製品の製造・販売 建築工事、土木工事、コンクリート工事

社名	Antara Koh Private Limited
創業	1974年3月
売上高	5,880百万円（24年3月期）
従業員数	175人（24年3月末現在）
事業内容	海洋土木